

仕 様 書

救 助 工 作 車 II 型

令和6年度

岐 阜 市 消 防 本 部

救助工作車（Ⅱ型）・仕様書

第1章 総則

- 1 本仕様書は、岐阜市消防本部（以下「消防本部」という。）が令和6年度岐阜北消防署及び山県消防署に更新配備する救助工作車Ⅱ型（以下「救助工作車」という。）の製作及びそれに関する一切に適用するものとする。
- 2 契約にあたっては、本仕様書を十分熟知するとともに、疑義が生じたときは、必ず消防本部担当者に質問すること。なお、契約後生じた疑義の一切は、全て消防本部の解釈に従うものとする。
- 3 本仕様書に定める他、車両の規格等、関連法令、基準に適合するとともに、完成後は、道路運送車両法（昭和26年法律第185号）及び道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。
- 4 車両は、緊急消防援助隊設備整備の救助工作車（Ⅱ型）補助対象規格に適合すること。
- 5 本救助工作車は、あらゆる災害救助活動に対応できるよう、キャブオーバー型ダブルキャブ低床式5.5トン級消防専用シャーシ（4輪駆動方式）後軸増トン仕様、ウインチ装置、クレーン装置、発電装置、照明装置を装備し、車両ボックス内に積載した救助用資機材等を活用して災害時の人命救助活動に対応するために製作するもので、各部構造装置は堅牢で耐久性に富んだ部材で製作すること。
- 6 本仕様書に明記されていない事項は、メーカー公表の標準仕様とする。
- 7 車両製作に使用する機械、積載品は、すべて最新型のものであること。
- 8 本仕様書に疑義が生じた場合、又は変更を必要とする場合は、事前に消防本部担当者へ連絡の上、指示又は承認を受けるものとする。
- 9 受注者は、製作に先立ち、消防本部と細部にわたり十分な打合せを行った後、速やかに下記の図書を各3部、A4版ファイルに製本のうえ、契約後60日以内に消防本部へ提出すること。
なお、受注者は消防本部の承認を受けた後、艀装、改造を行うものとする。
(1) 救助工作車製作前に次の書類を提出し、消防本部の承認を得ること。
ア 製作工程表（契約締結8週間以内に提出する）

- イ 艀装5面図（前、後、上部、両側面）
- ウ 主要装備品図及び架装図
 - （ア）ウインチ装置
 - （イ）クレーン装置
 - （ウ）発電装置（発電機組立図含む）
 - （エ）照明装置
 - （オ）操作盤（制御盤、配電盤）
- エ 電気系統図、配線図及び油圧配管図
（配線、容量、数量一覧表及び無線取付け概要図を含む）
- オ 改造自動車計算書
- カ 積載機材類の積載概要図
- キ 車両総重量計算書

10 本救助工作車の納車時に次の図書を製本し、2部消防本部に提出すること。

- （1）取扱説明書
 - ア 車両取扱説明書
 - イ 装備品取扱説明書
 - ウ 救助用資機材取扱説明書
- （2）改造自動車等審査結果通知書の写し
- （3）自動車検査証の写し（新規登録直後、速やかに提出すること）
- （4）機材積載要領図（積載品等一覧表を含む）
- （5）主要装備品及び架装図
 - ア ウインチ装置
 - イ クレーン装置
 - ウ 操作盤（制御盤、配電盤）
- （6）修理説明書（各装備装置含む）及びパーツリスト
- （7）写真（カラーサービス版、CD-R付）
 - ア 艀装行程写真
 - イ 完成写真（新規登録後のナンバー付のもの）
 - （ア）完成車の車両外観四面、左右斜め前方及び車内三面 4枚組
 - （イ）積載品、付属品 4枚組
 - （ウ）ボディー各部の状況、取り付け部品の状況 4枚組
 - （エ）その他消防本部指示のもの
- （8）緊急自動車届出確認書（正）
- （9）各種性能試験等の成績表（発電機、クレーン、ウインチ、照明装置を含む）
- （10）車両保証書

(11) その他消防本部が指示するもの。

ア 本仕様書記載事項で疑義又は、仕様の変更が生じたときは、消防本部担当者の指示を受け協議後、仕様の変更については全て文書にて消防本部へ報告するものとする。

イ 仕様書に明記されていない点は、メーカー公表の標準とする。

ウ 本仕様書文中の前後左右は、車両の進行方向を基準とする。

11 登録等に係る費用は次のとおりとする。

(1) 自動車新規登録に係る必要な経費（重量税を除く）、車検手続き、船舶検査手続き、高圧ガス容器登録及び本仕様で示された機能を十分満足する機器の調整、その他の費用は受注者の負担とする。

(2) 改造又は変更部分の検査に要する費用は、受注者の負担とする。

(3) 仕様書及び承認書類に基づく、中間検査、完成検査は消防本部の指定した場所で実施する。

12 本仕様書の事項で、その機能が十分達成されるものであれば変更することができるが、本仕様書の内容を下回ることにはできない。また、仕様書に定めのない事項及び細部については消防本部と協議し、指示を受けること。

なお、受注者が公表している標準艤装、取り付け装置、積載品等はすべて含むこと。

13 完成車は消防車として岐阜陸運支局に新規登録し、燃料を満量にし、消防本部が行う検査及び試験に合格した後に引き渡しをするものとする。

14 納入後、消防本部の救助隊員に取り扱い操作要領の説明を行うこと。

なお、救助資機材を使用するために付属品等が必要とされる場合は、最低限の必要な部品を取り付けて納入すること。

15 現在使用している救助工作車の資機材を引き取り、無償で処分すること。

なお、引き取り資機材については、消防本部担当者と協議すること。

16 保証期間

保証期間は、納入後1年とする。ただし、保証期間経過後であっても、設計、艤装及び資機材等に起因する不都合な事項は、受注者の責任において早急に対処するものとする。

17 納入後、2回（1ヶ月又は1,000km以上及び3ヶ月又は5,000km以上）の新車点検を無償で実施すること。

18 納入後1年以内に、主要装備品等の年次点検等を無償で実施すること。

19 納入期限
令和7年3月31日までとする。

20 納入場所及び数量
岐阜市長が指定する場所

所属	住所	数量(2台)
岐阜北消防署	岐阜市鷺山1769番地496	1台
山県消防署	山県市高木1291番地2	1台

第2章 シャーシ仕様

1 本救助工作車に使用するシャーシは国家検定に合格した、キャブオーバー型ダブルキャブ低床式4輪駆動シャーシで最新型とする。また、本仕様書に於いて指定した以外の装備については、シャーシメーカーが公表した標準取り付け品が装備されているほか次のとおりとする。

- (1) 型別 キャブオーバー型ダブルキャブ5.5トン級
 消防検定シャーシ(最新)
 後軸仕様 増トン（11.99トン仕様）
- (2) ホイルベース 3,790mm程度
- (3) エンジン ディーゼルエンジン
 総排気量 5,000cc以上
 自動車最大出力 約230ps以上
 消防ガバナ装置式
 （オールスピードガバナー式1,800rpm作動）
 新長期規制値をクリアする車両とすること。
- (4) 駆動方式 4輪駆動方式
- (5) 変速装置 オートマチックトランスミッション
- (6) 全長 8,100mm以下
- (7) 全幅 2,350mm以下
- (8) 全高 3,250mm以下
- (9) 乗車人員 前席2名、後席3名、計5名
- (10) シャーシフレームは捻れ等に対し堅牢な構造とし、増トン対応型とすること。

2 本シャーシの装備取り付け品及び付属品は、次のとおりとする。

- | | |
|----------------|---|
| (1) ブレーキ | A B S方式、排気ブレーキ |
| (2) サスペンション | 悪路用（リーフスプリング増し） |
| (3) エアコン | 純正品1式 |
| (4) バッテリー | 12V-155AH又は同等以上のもの×2 |
| (5) オルタネーター | 24V-90AH以上 |
| (6) パワーウィンドウ | 全席 |
| (7) 操舵装置 | チルトステアリング、フロントスタビライザー |
| (8) サイドミラー | 熱線ヒーター付き電動リモコンミラー
左側電動格納式
メッキミラーカバー、メッキミラーステイ |
| (9) キャブチルト装置 | 電動油圧式（支持棒付き） |
| (10) オイルパンヒーター | キャブタイヤコード10m付
外部充電兼用（ずぼら） |
| (11) 車体ジャッキ | 専用ジャッキ（一式） |
| (12) 車両後退警報機 | 1式（音声指示付き） |
| (13) 時計 | 大型デジタル時計 |
| (14) バックアイモニター | 1式（詳細は別途協議） |
| (15) ドライブレコーダー | （最新型 補助カメラ、SDカード）
詳細は別途協議 |
| (16) サンバイザー | 運転席、助手席 |
| (17) サイドバイザー | キャビン各ドア上部 |
| (18) ドアハンドル | キャビン各ドア メッキ調ドアハンドルカバー |
| (19) スペアタイヤ | 1式（スタッドレスタイヤ）アルミホイール付き |
| (20) タイヤ | スタッドレスタイヤ（全輪）アルミホイール付き |
| (21) 計器類 | エンジン回転計（積算計付き）、油温計 |
| (22) タイヤチェーン | 1式（固定バンド付き） |
| (23) フロアーマット | 1式（前後席） |
| (24) マッドガード | 大型4個 |
| (25) 予備ヒューズ | 取付数と同数 |
| (26) 車両標準工具 | 1式 |
| (27) 消防マーク | 1個（150mmキャビンフロント中央車両メーカーマーク取り外し） |
| (28) 反射板 | 1式（追突防止用） |
| (29) 前照灯 | LEDランプまたはディスチャージランプ
（詳細は別途協議）フォグランプも同様とする。 |

- | | |
|----------------------|----------------------------------|
| (30) 路肩灯 | 1 式 (左 2 箇所、右 1 箇所) |
| (31) 後退灯 | 1 式 (車両後部 2 灯) |
| (32) 三角表示板 | 1 枚 |
| (33) 燃料タンク | 1 0 0 L 対応型 (容量について別途協議) |
| (34) 車両動態装置 (AVMGPS) | 1 式 |
| (35) その他 | シャーシメーカーが公表した標準装備とする。 |
| (36) インバーター1000W相当 | キャブ内電源取出 2 口取出しとする。
(詳細は別途協議) |

第 3 章 キャビン艙装仕様

1 キャビン構造

- (1) キャビンは、5 名乗車のダブルキャブで赤色警光灯一体型ハイルーフにすること。
- (2) CFRP 製のハイルーフ仕様にする。

2 キャビン外装

- (1) キャビン上部は強固な骨組みを取り付け、その上をアルミ縞鋼板で囲うこと。
- (2) 取り付けるアルミ縞鋼板は、キャビン上部をほとんど覆うものとする。
- (3) 上部をフラットに仕上げるとともに 8 カ所 (四隅及び前後左右中央部分) にステンレス製 D 環 (耐荷重 5 0 kg 以上) を取り付けること。
なお、取り付ける数量、位置については消防本部担当者と協議すること。
- (4) 取り付けたアルミ縞鋼板は、動荷重 1 5 0 kg (静荷重 3 0 0 kg) 以上の荷重に十分耐えられるように、キャビン上部及びキャビン内天井に適切な補強を行うこと。
- (5) サイレン、警鐘、拡声の 3 種切り替え式の最新大阪サイレン製アンプを取り付けること。スピーカーは、電子サイレンアンプに適合するものであること。また、必要に応じてキャビン内のサイレン音を減衰できる機能を有しているものとする。また、取り付け位置はキャビン上部ハイルーフへ設置または内蔵とし、防雨防雪カバーを取り付けること。(大阪サイレン製アクティブ制御スピーカー MRA-SP-30R)
- (6) モーターサイレンは、キャビン上部ハイルーフ内蔵とすること。
- (7) 赤色警光灯は、高感度 LED でハイルーフ一体型とすること。また、キャビン上部ハイルーフ前方部の適切な位置に取り付けること。(大阪サイレン製 MRA-B310)
- (8) 赤色警光灯本体重量、車両走行中の振動及び雨水の浸入に十分に耐えられるよう適切に補強等を行うこと。
- (9) 赤色点滅灯は、下記の場所に取り付けること。

ア	フロントグリル	2 個
イ	車体資機材収納部の上部板 (左右)	各 2 個

ウ 車体資機材収納部の後面上部（左右） 2個

- (10) 標識灯はハイルーフ一体型とし、左右に各1箇所とすること。地は黄色、指定文字は黒色で「北署」、「山県署」と記入し指定文字の寸法は、別途指示する。
- (11) キャビン左下方にバッテリー専用引き出し式ボックス（ローラー引き出し式）をキャビン右下方に照明装置用コントローラーを収納できるボックスをそれぞれ設けること。
バッテリー専用引き出し式ボックスは、点検が容易に行える仕様にする。
- (12) キャビン左右の後部ドア下方に車輪止め（硬性ゴム大型4ヶ）を取り付けること。
- (13) 車両前部にロック装置付き牽引用ピンドルフック（ステンレス製）、後部に外れ止め付き牽引用フックをシャーシフレームから取り出し（使用荷重3 t以上）各2個を設けること。
- (14) 音声合成装置を設けること。音声合成装置は最新大阪サイレン製品とし、車載アンプに接続して運転操作に連動した音声メッセージ出力ができること。音声メッセージの種類は、標準搭載メッセージのCH1～CH5を別途指示のとおり変更すること。ただし、後退放送は別スピーカーとし、解除スイッチをキャビン内に設けること。
- (15) 後部ステップは、後席乗員が安全に乗降できる様、アルミ二段ステップ（グレーチング仕様）とすること。なお、乗車人員の安全な乗降に必要な握り棒又は、手摺りを設けること。
- (16) キャビン上部中央に無線電話装置の空中線（アンテナ）およびAVMアンテナ等を取り付け、無線の取り付けに関しては、無線取り扱い業者と別途協議する。
- (17) 電装品の各配線は、キャブ内張内を通しキャブ本体の貫通箇所は、雨水等の漏れを防止する構造とする。
- (18) キャビン艙装については、各関係業者間において事前に十分な打ち合わせを行うこと。（無線機用の外部スピーカー等）

3 キャビン内部

- (1) 乗車定員は5名（前2人、後3人）とし、安全に乗車できる座席を設けること。
- (2) 乗車人員の乗降時及び、走行時において、安全に必要な握り棒、手摺り及びシートベルトを設けること。
- (3) 後部の背当ては、空気呼吸器の着脱が容易に行えるよう呼吸器埋め込みボストロム式とし、空気呼吸器取付装置（7 Lボンベ用クイックホルダー3基）及び面体用フックを設けること。
- (4) 後席の座面は跳ね上げ式とし、背板は呼吸器内蔵型とすること。また、長距離、長時間の移動の際も座面水平を維持することができる適切なクッション構造とすること。

- (5) 後席の床面から天井までの有効高さは、1,800mm以上とすること。
- (6) 後席は、跳ね上げた時に足元空間（前後600mm程度）を最大限確保し、大型資機材の平積み積載も可能とすること。
- (7) 後席座面下部に、車両ナビゲーションシステム装置が収納できるスペースを設けること。
- (8) 後面ガラス窓内側に、ガラス保護フィルムを取り付けること。
- (9) ダッシュボードに各取り付け装置の最新製10連スイッチ集合盤を設け、スイッチ類毎に名称及びパイロットランプに、その旨を銘板表示すること。
- なお、センターコンソールボックスは小物入れとして兼用できるものとし、ボックス内には各警報装置関係、艀装関係ヒューズボックス等を付けること。
- (10) 重量150kg以上の荷重に十分耐えられるよう天井に適切な補強を行うこと。
- (11) 運転席及び助手席の上部に単独・ドア連動スイッチ付のLED屋内灯を各1個取り付けること。（もしくは中央部分に長方形型LED屋内灯1個）
- (12) 後席の上部に単独・ドア連動スイッチ付のLED屋内灯を左右各1個取り付けること。（もしくは中央部分に長方形型LED屋内灯1個）
- (13) 前席と後席の中央部（後席前方）に直径32mm程度のステンレスパイプによる手摺りを設け、可動フック8個を取り付けること。（詳細は別途協議）
- (14) 前席と後席の中央部（後席前方）に図面等が収納できるスチール製ボックスを設けること。（詳細は別途協議）
- (15) 後席上方前方に幅1,660mm×長さ600mm程度の棚を、後方に幅1,660mm×長さ320mm程度の棚を設けること。
- (16) 前席中央部に、スイッチ類、アンプ類、無線機を集中して取り付けること。
- なお、AVMモニターの取り付け位置は別途協議する。
- (17) 助手席から操作できる位置にモーターサイレンのスイッチを設けること。
- なお、モーターサイレンのスイッチと解るよう明示すること。（詳細は別途協議）
- (18) 内張は電装品及び各配線の点検が容易に行える構造とすること。
- (19) 無線障害を防止するための処置を施すこと。
- (20) ワイヤレスマイクとアンプ(ユニパック製4点セット、60w型)、スピーカーは赤色灯サイレンスピーカーと兼用とする。受信アンテナのケーブル貫通部の防水気密を確実にすること。受信アンテナ取り付け位置は別途協議する。
- (21) 車両動態端末 (AVMGPS) については、既存の救助工作車（北署救助工作車、山県署救助工作車）に積載してある車両動態端末 (AVMGPS) 1式を取り外し、納入する救助工作車に配線し取り付けること。配線、アンテナ等は新品とする。

なお、以下の端子を装備した車両位置動態車載端末装置アダプターボックスを取付けること。

ア バッテリープラス端子

イ バッテリーマイナス端子

ウ ACC端子

エ 車速パルス信号

オ バック信号

(22) 無線電話装置は、既存の車両に積載してある無線機を取外し、納入する車両に取付けること。

なお、配線及びアンテナ、スピーカー等は新品を使用すること。

(23) ドライブレコーダー一式（最新型、補助カメラ、SDカード）を納入する車両に取付けること。

(24) 助手席のシートは空気呼吸器収納式シートとする。（詳細は別途協議）

(25) 前後座席には、防水シートカバー施すこと。（詳細は別途協議）

(26) 運手席まわりの各スイッチ類を、夜間でも充分視認できるよう照明を設けること。
（詳細は別途協議）

(27) 後方視界用カラーモニターを、リアエプロン中央上部（保護カバー付）に設け、キャビン内のルームミラー型モニターで常時確認出来るようにすること。

第4章 車体艤装仕様

1 車体艤装に関する一般的事項は次のとおりとする。

(1) 車体の構造及び艤装は、堅牢で耐久性を十分考慮して制作すること。

(2) 車体の骨組みは完全に自立する構造とし、側板、腰板、シャッター扉等には直接大きな荷重を負担させないこと。

(3) 本車体のシャーシに骨組みを取り付ける場合は、原則としてリベット継ぎ手又はボルト締め（緩み止めを施す）により行うこと。

(4) 艤装に使用する材料は精選し、耐蝕性に優れた材料を用いること。

(5) 艤装は、各装置の点検が容易に行えるよう組み立て取り付けること。

(6) 艤装完了時には、鋭利な突起が残存しないものとし、ボルト、ナット等は全てステンレス製とし危害防止上安全な仕上げを行うものとする。

(7) 車両最後部両側面に車幅灯を取り付けること。（スモールライト連動）

(8) 作業灯は下記の場所に取り付けること。

ア キャビン後部扉上部（左右） 各1個（MYSW-L660H-W）

イ 車体資機材収納部の手動開閉式アルミシャッター上部板（左右） 各2個

ウ 車体資機材収納部の後面上部（左右） 各1個

エ 車体資機材収納部の手動開閉式アルミシャッター上部板（内側左右足元灯）
各2個（詳細は別途協議）

なお、イ、ウ及びエの作業灯のスイッチは車体側面に設けること。

(9) 車体の両側面リアフェンダーは展開ステップ（チェーン・アームレス式構造）とし、前後ステップとの高さを揃えるフラット式にすること。

2 積載品の収納ボックスの艤装は、次のとおりとする。

(1) 荷台の積載スペースは、「救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令」別表第1、第2及び第3に定める救助資機材及び消防本部が指定する救助資機材を積載可能なものとする。

(2) 荷台は、中央で分割し、両側面を左右1区画とすること。左右に手動式開閉式アルミシャッターを設け、左側は3枚のシャッター、右側は2枚のシャッターで区切ることとし、右側の後部に担架等を縦積みできる区画を設けること。また、両側面の下部には、できるだけ大きくボックスを設け、両側面とも下蝶板式二重ロック装置とし、上部の機械の取り出しを容易にするため、扉（内側はアルミ縞板）は、ステップ（チェーンレス）として利用可能な強度の構造とすること。

なお、艤装上、引き出し式ステップとする場合など、詳細は別途協議するものとする。

(3) 歪みやがたつき等がなく安全ロック付き（鍵付き）構造とすること。

(4) 荷台内の資機材は、全て固定器具やベルト等によって確実に固定するとともに、脱着が容易に行えるようにすること。

(5) 荷台内の資機材の積み降ろしを容易にするため、大型回転扉、パターン扉、アルミボックス、可倒式パイプローラー及び引き出し装置等を必要に応じ設けること。（詳細は別途協議）

(6) 荷台内の後部に、マンホール救助器具又は簡易起重機、キャビン側面にバスケット担架・バックボード等の長尺救助資機材が収納できるボックスを設け、車両後部又は車両側面から容易に降ろせる構造とすること。（詳細は別途協議）

(7) 車両後部の収納スペースの左右にウインチ用フック及びシャックル用引出装置付近収納ボックスを設けること。

(8) 資機材の格納配置については、重量物品をできるだけ下方に積載するように考慮するとともに、同一用途ごとにまとめて収納すること。

(9) 荷台には、水抜き穴を設け、必要に応じ排水パイプを取り付けて車体の下方に取り出すこと。

(10) 荷台には、格納資機材を有効に照明でき、極力突出のない室内灯（必要に応じて保護枠付き）を設け、メインスイッチを運転席に設けること。

なお、室内灯の位置は、資機材積載時を考慮しボックス内手前側とすること。

(11) 荷台のシャッターの開閉状況（半ドア等）が、運転席において確認できる装置を設けること。

(12) 荷台の上部はアルミ縞鋼板とし、雨水の滞留及び浸水等のないような構造とするこ

- と。また、赤色警光灯（LFA300）、作業灯（MYSW-L740H-W）が取り付けられるよう両側に側板の立ち上げを設けること。（詳細は別途協議）
- (13) 荷台には、昇降することができる梯子（ステンレス製）を車輛の前後部の両側に設けること。（詳細は別途協議）
- なお、梯子の横棧部分にはアルミ縞鋼板を張ること。
- (14) 荷台の上部には、三連梯子及び鍵付き梯子を2段で積載し、電動式自動昇降装置（佐藤工業所製 SSA-II）を設けること。
- (15) 荷台上部に資機材の収納ボックス（アルミ製ボックス）を設け、走行中に収容物が破損等をしない構造とし、ボックスに吊り上げフックを取付け、クレーンで容易に昇降できる構造とすること。（サイズ等詳細は別途協議）
- (16) 荷台上部の収納ボックス（アルミ製ボックス）の下に、ステンレス製D環（耐荷重50kg以上）を6個以上取り付けること。（詳細は別途協議）
- (17) 荷台には、資機材を搭載、移動又は落下を防止する固定装置（取り付け金具、バンド等）を設けること。（詳細は別途協議）
- (18) 車輛左右側面前方には袖板を設け、上方に左右貫通式のボックス、下方に車外無線機送受話器ボックス及び車外スピーカーを設けること。
- (19) 車体には、粉末消火器20型（自動車用）1本を取り付けること。
- (20) 荷台側部には、車輪止め（硬性ゴム大型4ヶ）を取り付けること。
- (21) リアバンパーは、後面左右にLED丸形コンビネーションランプ各1式、LED内臓大型折り畳みステップ各2個、バウシャックル各1個を設け、上面左右の両端に手すりを設けること。
- (22) 車両後部の下方に、重量物排除用器具（チルホール等）の収納スペースを設け、スライド式で容易に出し入れできるようにすること。また、上方は小物入れを設けること。
- (23) 装備品の取り付け及び資機材の積載方法については、次によること。
- ア 資機材の配置については、消防本部担当者と事前に十分な打ち合わせを行うこと。また、製作過程において変更の必要があると認めた場合は、指示に従って変更すること。
- イ 指示する資機材には、アルミ製等の収納箱を製作して収納し、振動等により中の資機材が破損しない構造とすること。また、収納箱には搬送に便利な手掛けを設け、それぞれの品名を記入出来るカードホルダーを必要に応じ設けること。
- ウ 空気呼吸器用空気ボンベ（9L型）4本以上、潜水ボンベ（12L型）2本以上は、収納棚を設けて積載する方法とし、飛び出し防止装置を設けること。（詳細は別途協議）
- エ 車体左側面後方側シャッター内は、ロープ類、縛帯及びカラビナ等を吊り下げることができるパンチングメタルの展開パネルを設け、自由に付け替えのできるフック

クを15個取り付けること。また、展開パネルの奥に上下2段程度の棚を設け、パ
ツタン扉を設置すること。（詳細は別途協議）

オ 資機材のうち、ハンマー、バール等の長尺物については、スライド収納装置又は
アルミボックス等により次のものを差し込み等の方法により、容易に取り出しでき
るように取り付けること。（詳細は別途協議）

- | | |
|------------|---------------------------------|
| (ア) ハンマー | 各1本（大、小） |
| (イ) 鉄筋カッター | 1本 |
| (ウ) 万能斧 | 2本（RCバール） |
| (エ) 掛け矢 | 1本 |
| (オ) 手斧 | 1本（ライトレスキューアックス） |
| (カ) 剣先スコップ | 1本 |
| (キ) 角スコップ | 1本 |
| (ク) ノコギリ | 2本（折りたたみ式） |
| (ケ) ツルハシ | 1本 |
| (コ) バール | 3本
（ライトレスキューハリガン30、ピンチバール2本） |
| (サ) とび口 | 2本 |

カ 装備品及び資機材等を収納する際、緩衝材を必要とするものについては、緩衝ゴ
ム等で保護すること。

キ 車体の両側面リアフェンダー部分前後（高さ1mの位置）に、使用荷重300kg
以上の支点（フレノリンクボルト、全方向型）を2個以上設けること（詳細は別途
協議）

ク 車体の両側板それぞれにステンレス製支点リング（耐荷重100kg以上）を3
個以上取り付けること。（詳細は別途協議）また、取付け部周囲は、塗装剥離を防
止するため、ステンレス製ガード等を取り付けるとともに、支点リング下部保護カ
バーを3個付属すること。

ケ 各収納ボックスの器具取り出し及び収納の際に、ボックスに損傷を与えるおそれ
がある部分には、スノコ板等を設けること。

(24) 積載する救助用資機材については、別表のとおりである。

なお、仕様書記載の品名等に限らず、最新式のものとし別途協議すること。

3 ウインチ装置は、次のとおりの性能のものとする。

- (1) ウインチ装置は、キャビン前部に設け、駆動はフライホイールPTOにて行えること。
- (2) 前部ワイヤーロープは径14mmφワイヤー、長さ30m以上とする。
- (3) ワイヤーロープ巻き込み装置に、ローラーフェアリードを取り付けること。
- (4) 安全装置（過荷重防止装置及び、逆転防止装置）を取り付けること。

- (5) 性能は、最大牽引力5.5 t以上とすること。
- (6) フロントバンパーの先端コーナーは、可能な限りカットして丸くし、ウインチを挟んで牽引用のピンドルフック（3 t用ステンレス製）を2個取り付けること。また、下部にバウシャックルを2個設けること。（詳細は別途協議）
- (7) 有線リモコン操作と無線ラジコン（フロントウインチ操作、クレーン操作、照明操作兼用、荷重表示機能付き）操作が可能なものであること。
- (8) ウインチ操作作業灯を設けること。また、ウインチ使用時、ドラムへのワイヤーの巻取り状況が容易に確認できること。
- (9) ワイヤー乱巻き防止装置付きとすること。
- (10) テンション表示機能を設けること。（ウインチ本体及び有線リモコンに0.1 t単位で自照式にて表示）
- (11) 付属品
 - ア 玉掛け用ワイヤーロープ（アイ付きステンレス製、径10 mm、長さ1 m、3 m、5 m、を各2本）及びワイヤー用滑車（詳細は別途協議）
 - イ ウインチヘッドに防水カバー（ステップ兼用、脱着が容易なもの）
- (12) 本仕様書に明記されていない事項は、ウインチメーカー公表の標準仕様とすること。

4 クレーン装置は、次のとおりの性能のものとする。

- (1) クレーン装置は、ブームは荷台の上部にブームを前方方向に収納すること。
- (2) 動力伝導装置はフライホイールPTO方式（確認ランプ付き）とし、油圧ポンプ（定格出力：40L/min×2個）を駆動させることにより作動すること。
- (3) 最大吊り上げ能力2.9 t、最大作業半径7.5 m以上とし、最大地上揚程9 m以上とすること。
- (4) アウトリガー最大張出し幅は3900 mm以内（最大クレーン容量2.93 t×2.6 m以上、七角形ブーム段数3段以上）とすること。
- (5) クレーン装置は車体と同色とすること。（下地はカチオン塗装を施すこと）
- (6) 付帯装置
 - ア 荷重計
 - イ 巻過防止、乱巻き装置付き（ワイヤーロープ押さえ装置）
 - ウ ブーム、アウトリガー未格納警報装置をキャビン内に取り付けること。
 - エ クレーン・PTO確認ランプを取り付けること。
 - オ 操作レバーを有効に照明できる照明灯を（防水型LED MYS P-L18-W）左右操作部に設けること。
 - カ 無線ラジコン装置（照明・ウインチ併用型、荷重表示機能付き）を取り付けること。

- キ アウトリガー飛び出し防止装置は、二重安全装置を取り付けること。
- ク 両アウトリガーの端部には黄色点灯（アウトリガー連動）を取り付けること。
また、アウトリガーに側板カバーを取り付けること。
- ケ 荷を平行移動及び水平移動できる、ナビ機能を設けること。
- コ 旋回自動停止付格納装置付とすること。
- サ 操作部の見やすい箇所にデジタル式荷重計を設けること。
- シ ブーム高さ制限装置を設けること。
- ス ブーム先端にブーム先端灯（LED）を取り付けること。（詳細は別途協議）

(7) 付属品

- ア 油圧オイル用予備オイル 60L(20L×3缶)
- イ ベルト式スリング(2t用、3m、5m、7m)各2本
- ウ シャックル2個(使用荷重3t以上)
- エ アウトリガー用敷板2個、車体外部(アウトリガー近く)の容易に取り出せる位置に収納スペースを設けること。
- オ シャックルSE-20型4個、SE-30型4個

5 照明、発電装置は、次のとおりの性能とする。

(1) 照明器具

- ア 照明 LED2000W×2灯
- イ 電源 AC200V
- ウ 上面障害検知センサーを照明本体に取付け、上面障害物との距離が2m以下となると安全装置が起動し、伸縮柱が上昇できなくなる。自動上昇中に安全装置が起動した場合は、伸縮柱の上昇を停止してその場で旋回・起伏しLEDを点灯すること。
- エ 発電機起動後、1つのボタンで右90度、左90度、正面の3つの位置に自動上昇(伸縮柱の全伸⇒旋回⇒投光器の仰動作)を行い、対象物への照射を迅速に行なえる自動上昇装置を設けること。なお、障害物までの距離を操作ハンディリモコンに表示すること。
- オ 自動収納装置を設けること。

(2) 伸縮、ふ仰旋回装置

- ア 設置場所 資機材収納ボックス上部
- イ 伸長高 全伸長3.0m以上
- ウ 旋回角度 180度
- エ ふ仰角 360度(エンドレス回転)
- オ 周波数 50Hz/60Hz
- カ 伸縮速度 150mm/S以上

キ 操作方法 ハンディータッチパネル式コントローラー、無線リモコン
(フロントウインチ、クレーン兼用)

ク 伸縮段数 5段

(3) 発電装置

ア 出力 13KVA以上

イ 電圧 200V (50Hz) / 220V (60Hz)

ウ 電流 34.1A

エ 電気方式 三相

オ 周波数 50Hz / 60Hz

カ 発電方式 ブラシレス式励磁方式

キ 駆動方式 フライホイールPTO

ク 差し込みコンセント (100V) を車両の前後に各1個以上設けること。

なお、コンセントは2極平行盤型ロック式コンセント15A2個付きとし防水型とすること。(詳細は別途協議)

ケ 表示灯 (塔上昇中、発電中、照明中) はパイロットランプで表示すること。

コ フルパワーPTOにより油圧ポンプを駆動させ、油圧により発電機を駆動させること。なお、発電機定格出力送電中の走行用エンジン回転数は毎分約800~950rpmを維持する低速回転モードとウインチ・クレーンをスピーディーに作動させるため、約1000~1200rpmを維持する中速回転モードを設けること。また、発電機定格出力範囲内において負荷が発生した場合、及びクレーン、ウインチを同時に使用することによる負荷が生じて、同じくエンジン回転数は各モードの回転数を維持することができ、且つ照明照射の維持、並びに電源供給による作業、クレーン及びウインチ操作の作業が支障なくできること。

6 無線電話装置 (車載型)

消防無線電話器等、取り付け配線は次の要領とする。

- | | |
|------------------------------|----|
| (1) 消防用無線電話器 | 1 |
| (2) 無線用ホイップアンテナ | 1 |
| (3) キャブ後部用スピーカー | 1 |
| (4) 車外スピーカー (前後部、スイッチ付き) | 各2 |
| (5) 車外無線送話器及び取り出し口 | 1 |
| (6) 配線は、同軸ケーブル保護管付きで配線を行うこと。 | |

7 塗装について

(1) 塗装

ア 塗装面は錆を落とし、油類の清掃及び洗浄を完全に行い、乾燥を充分に行った後塗装すること。

イ 指示する以外の車体塗装は朱色とし、良質な材料を用いて、ウレタン塗装を行うこと。

ウ 指示する物には、クロムメッキ処理を施すこと。

(2) 塗装箇所（詳細は別途協議）

- | | | |
|---|------------------|-------------|
| ア | ボックス内 | シルバー |
| イ | クレーン本体 | 朱色塗装（消防色） |
| ウ | クレーンジャッキ | 黄色と黒色のトラサク |
| エ | フロントバンパー | 朱色塗装（消防色） |
| オ | キャビン内部 | シャーシメーカー標準色 |
| カ | 床裏及びフェンダー裏灯の車体周り | は黒色塗装 |
| キ | シャッター（両側面） | 朱色塗装（消防色） |

(3) 塗装要領

車体全般の朱色塗装（消防色）はウレタン塗装を行うこと。

- ア 素地調整
- イ プライマ塗り
- ウ パテ付け
- エ 水研ぎ
- オ 上塗り（仕上げ塗り 3 回以上）
- カ 磨き

8 車輛表示文字

(1) キャビン記入文字

ア キャビン後部両側ドアの中央部に「岐阜市消防本部」と白文字で左横書き記入（1文字 H120mm×Y100mm）し、消防本部が指定するデザインを記入すること。

イ 字体は、丸ゴシック体とする。

ウ 岐阜市と表示した標識板をフロントバンパー右上部に取り付けること。（文字サイズ、標識板については別途協議）

エ キャビン前部及び車両後部に白文字で「岐北41」（北署）、「山県41」（山県署）を記入すること。

オ キャビン上部アルミ縞鋼板に黒文字で対空表示「岐北41」（北署）、「山県41」（山県署）を記入すること。

(2) 荷台の記入文字（詳細は別途協議）

ア 消防本部が指定するデザインを荷台の両側シャッターに記入すること。（字体、色、大きさは別途協議）

イ 資機材収納箱及び引き出しボックス面に記載する積載品名等は、黒色で寸法は適

宜とする。

ウ 車体両側部に消防本部の指示した、ライン及び記号等を記入すること。（詳細は別途協議）

(3) 標識灯の記入文字

ア 字体は、丸ゴシック体とする。

イ 標識灯前面に左から黒文字で記入すること。（文字は「北署」、「山県署」）

第5章 その他

1 取付け品及び付属品

(1) タイヤチェーン（車輛後輪用） 1組

(2) 消防章（キャビンフロント取付け、車輛マーク取り外し）φ150mm以上 1

(3) ウインチ装置防水カバーはアルミ製とする。（フロントナンバーはカバーに取り付ける。）

2 協議

本仕様書において疑義等が生じた場合は、消防本部と協議すること。

第6章 検査

1 中間検査

各艀装部分及び取付け品の位置、固定方法等について消防本部職員と中間検査を実施するものとする。（艀装メーカー営業担当者及び製造担当者が立会うこと）

2 検収検査

新規登録検査に合格後、消防本部が本仕様書に基づいて各種検査を実施し、全てが良好と認め受注者から車両を受領して完了する。（艀装メーカー立会）

しかし、検査の結果で消防本部が不合格と認めた箇所については、受注者は速やかに改修し再検査を受けること。

なお、改修等に要する費用は受注者負担とする。

第7章 補則

1 本仕様書に定められない事項でも、受注者が公表している仕様工作上において、当然必要なことはこれを施工すること。

2 資機材等については、努めて軽量化を図るものとする。ただし、強度を保ち変形しないこと。

なお、軽量化に伴い変更する場合は、消防本部と協議をすること。

3 完成車は、中部運輸局岐阜陸運支局の行う新規登録検査及び緊急車指定申請手続きを

完了後に本部へ納入する。

- 4 自動車損害賠償責任保険、その他新車登録手続きに必要な経費（重量税を除く）は受注者負担とする。
 - 5 完成車は、新規登録検査に合格後、各部の給脂等の点検整備を入念に実施し、燃料及び各油を満量にして納入検収を受けること。
 - 6 保証期間が経過後においても、使用資機材及び艤装による不備欠陥等による故障破損等は受注者の責任において速やかに修理若しくは交換し、それに要した費用は受注者が負担する。
 - 7 アフターサービスは良心的に実施するとともに、修理を要するものについては、迅速、かつ的確に行うこと。
 - 8 保証期間は、納入検収後1年間とする。
- 以 上

(担 当) 岐阜市消防本部消防課

TEL 058-262-7162

FAX 058-266-8154

取付品及び附属品 ※一覧の数量は1台分のため、2台分の数量を要する。

NO.	品名	備考	数量
1	標識灯	ハイルーフ内蔵	1式
2	消火器	20型	1
3	赤色警光灯	大阪サイレン製(ハイルーフ内蔵) MRA-B310	1式
4	補助赤色警光灯	フロントグリル LFA100	2
		車体左右側面 LFA300	4
		車体後面 LFA300	2
5	電子サイレン	大阪サイレン製 TSK-D152	1式
6	電子サイレンスピーカー	大阪サイレン製アクティブ制御スピーカー(ハイルーフ内蔵) MRA-SP-30R	1式
7	後退警報器		1
8	車輪止	大 取付含む	2
9	ウインチ装置(前) 油圧	大橋機産 MCW-550RRT-S	1式
10	クレーン装置	タダノ ZX303 HRENSA	1式
11	屋上発電照明装置	多摩川精機 SQE4000	1式

軽微な変更として備えることができる取付品及び附属品
※一覧の数量は1台分のため、2台分の数量を要する。

NO.	品名	備考	数量
1	タイヤチェーン		1式
2	車外無線送話機取出口	左右各1箇所	1式
3	電動サイレン	6SA	1式
4	キャブチルト装置		1式
5	オイルパンヒータ		1式
6	スタッドレスタイヤ		1式
7	反射材		1式

その他装備品 ※一覧の数量は1台分のため、2台分の数量を要する。

NO.	品名	備考	数量
1	バックアイモニター	最新型、ドライブレコーダー一体型(詳細は別途協議)	1式
2	ドライブレコーダー	最新型(詳細は別途協議)	1式
3	サンバイザー	運転席、助手席	1式
4	サイドバイザー	キャビン各ドア上部 樹脂製	1式
5	ドアハンドル	キャビン各ドア メッキ調ドアハンドルカバー	1式
6	サイドミラー	メッキミラーカバー、メッキミラーステイ	1式
7	スペアタイヤ	スタッドレスタイヤ(フロント、リア各1)アルミホイール付き	2
8	エンジン回転計	シャーシ標準	1
9	油温計	シャーシ標準	1
10	電圧計	シャーシ標準	1
11	フロアマット	シャーシ標準	1式
12	マッドガード		4
13	予備ヒューズ		1式
14	車両標準工具	シャーシ標準	1式
15	消防マーク	150mm	1
16	前照灯	LED又はディスチャージ	1式
17	路肩灯	左2個・右1個	1式
18	後退灯		1式
19	三角表示板	シャーシ標準	1
20	ハイルーフ	CFRP製ダブルキャブ赤色灯一体型	1式
21	キャブ上部D環		8
22	バッテリー引き出し装置		1
23	キャブ後部ステップ	アルミ2段グレーチング	1
24	空気呼吸器取付装置	後部座席 ポストロム式	3
25	空気呼吸器取付装置	レスキューシート	1
26	防汚シートカバー	運転席・助手席・隊員席(3席)	5
27	面体フック		3
28	10連スイッチ	大阪サイレン製	1
29	キャブ内灯	前・後	2
30	可動フック	S字フック	8
31	地図入れボックス	A3サイズ	1
32	ワイヤレスマイク	ユニペック製	1
33	車輪止	大 取付含む	6
34	フロントピンドルフック		2
35	フロントバウシャックル		2
36	リアバウシャックル		2

37	作業灯	キャブ前面 LIA200 フロントパネル 左右各1個	1式
		キャブ後部扉上部 MYSW-L600H-W 左右各1個	1式
		側面シャッター上部 MYSW-L740H-W 左右各2個	1式
		後面上部 LIA300 左右各1個	1式
38	作業灯 天井アオリ部内側	左右各2個	1式
39	車両側面展開ステップ	チェーンレス式	6
40	昇降梯子	天井への昇降用 ボディ左右各1箇所	1式
41	3連梯子昇降装置	佐藤工業所製 SSA-II	1
42	アルミ縞板ボックス	ボディ天井	1
43	ボディ天井支点	D環 耐荷重50kg以上	6
44	大型折畳ステップ	LED内蔵	2
45	収納箱	左右側面資機材収納庫内	1
46	回転式棚		1式
47	フェンダー内支点	フレノリンクボルト 左右2個	1式
48	天井側面支点リング	左右各3個	1式
49	ワイヤーロープ(アイ付きステンレス製)	径10mm、長さ1m	2
		径10mm、長さ3m	2
		径10mm、長さ5m	2
50	油圧オイル用予備オイル	20リットル缶	3
51	ベルト式スリング	2トン用、3m	2
		2トン用、5m	2
		2トン用、7m	2
52	シャックル	荷重3トン以上	2
53	敷板	アウトリガージャッキ用	2
54	シャックル	SE-20型	4
		SE-30型	4
55	ワイヤー用滑車	5トン用	1
56	無線機・AVM移設	旧車両→新車両	1

救助工作車Ⅱ型積載資機材

1 省令別表第1 ※一覧の数量は1台分のため、2台分の数量を要する。

	品名	規格品質等	数量	摘要
一般救助用器具	三連はしご	チタン製 8.7m	1	関東はしごKHA-87
	かぎ付はしご	チタン製 3.1m	1	関東はしごKHFL-TOT31
	ワイヤーはしご	ステンレス製、長さ11m	1	収納ケース付き 関東はしごKHFL-Y-11
	空気式救助マット	スーパーソフトランディングSSL 収納袋に「空気式救助マット」	1	藤倉航装 自立式 専用収納袋付
	救命索発射銃	赤尾製	1	スーパーショット スローライン60m、弾頭3個、キューブ
	平担架	バーティカルストレッチャー	1	ファーノワシントン製 付属品一式、アウトースキッド付き 専用収納袋付
			1	ファーノワシントン製 65EXL ヘッドイモブライザー 445-SP
	サバイバースリング	デラックスサバイバースリング	1	エマルゴテクニカルソリューション社製 P/N: AC01-070-00 Rev C
	救助ロープ	白(赤線2本入り)	3	東京製綱製 M打ち 三打ち12mm×200m
		赤	3	東京製綱製 M打ち 三打ち12mm×200m
		青	3	東京製綱製 M打ち 三打ち12mm×200m
	カラビナ	ステン10・12 ダブルストッパー	30	KA10W-S
			30	KA12K-S
滑車	ワイドプーリー	8	PL-75W	
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	ラムシリンダー	1	株式会社オグラ製 RP-R420 RP-M18V
	油圧スプレッダー	コンビツール	1	株式会社オグラ製 RP-V300コンビツール 引っ張りチェーン RP-M18V
	可搬式ウインチ	チルホール(TU-16)	1	チルコーポレーション製(20mワイヤー付き)
	ワイヤーロープ	径8mm×4m 径8mm×2m	2	ステンレス製 (アイ付)
			2	ステンレス製 (アイ付)
マンホール救助器具	CMCアリゾナポーテックス	1	レスキューキットデラックス附属 キットフット3種以上、アンカーポイント、エイゾープキット付き	

切断用器具	エンジンカッター	パワーカッター	1	マキタ製CE090DZ 金属・ステンレス用切断砥石×15枚 切断砥石用フランジ付 正配列レーザーブレード×10枚 BL1860B×2本 給水タンク(ホース付き) 2個(D988394610)
	ガス溶断器	酸素切断機 オズ製 OZ-100	1	標準装備品付 予備切断棒 OZ-9-90 25本 OZ-9-60 25本 予備ボンベ付
	チェーンソー	マキタ製	1	MUC405DGFR 予備チェーン5本 チェーンソー用防護チャップス付(Lサイズ) 自動目立て器付 チェーンオイル4L
	油圧切断機	カッター	1	株式会社オグラ製 RP-C160 RP-M18V
	鉄線カッター	ボルトクリッパー	1	BC600
破壊用器具	万能斧	岡田金属製	2	トップマン
	ハンマー	大・小各1 モリタ製	2	
	携帯用コンクリート破壊器具	マグナムストライカー	1	YONE株式会社
検知・測定用器具	放射線測定器	アロカ製 サーベイメーター	1	TCS-1172 専用収納箱付 収納箱に「放射線測定器」と記入すること
呼吸保護用器具	空気呼吸器(調整器)	エア・ウォーター防災株式会社	5	ライフェムA1-12型 CX製面体付(収納袋付)ボンベ締め付けバンドはFカムベルトであること ・呼吸器1基につき面体カバーガラス(タイプF2)5枚、圧力計ゴムカバー1個付、プレッシャーデマンド弁ゴムカバー1個付 ・警報器の鳴動圧力を「6MPa」に設定すること ・空気ボンベ固定用レバーが、レバー受けから安易に外れないよう措置を講ずること
	空気ボンベ	空気ボンベ 9リットル(300kg)	5	エア・ウォーター防災株式会社 カーボン繊維製FRPアルミニウム930CⅡAフルネッカー(150° ハルブ) 最高充てん圧力30Mpa 上下カバー付 ※岐阜市の登録番号「J-005」を表示すること
		空気ボンベ 7リットル(300kg)	10	エア・ウォーター防災株式会社 カーボン繊維製FRPアルミニウム730CⅢフルネッカー(150° ハルブ) 最高充てん圧力30Mpa 上下カバー付 ※岐阜市の登録番号「J-005」を表示すること

隊員保護用器具	安全帯	タイタン FR1N-BL型	5	PRO補助ベルト付き PHBN-BL型 ワンタッチバックル式
	革手袋	プロハンズ	5	ローブ降下用グローブ CT-380(Lサイズ)
	耐電手袋	ヨツギ製	5	7000V対応
	防塵めがね		5	山本光学 YG-504
	携帯警報機	MSAモーションスカウト	5	キー付き
	防毒マスク	ドレーゲル製 吸収缶(予備含む)	5	CDR4500 予備吸収缶10個付属(CBRNCap1)
	放射線防護服	インナーサーベイスーツ	2	KH-3型
保科製作所製 RI防護服		2	NUK-6000	
個人線量計		2	マイドーズアラーム ADM-112	
検索用器具	簡易画像探索機	簡易画像探索機	1	プロカム PCII-780S2 延長ケーブル 30m ハロゲンサーチライト HL-50
その他の救助器具	投光器	マキタ製	1	ML008G パワーソースキット2×1セット ライト用三脚 防眩フィルム2枚付属
	携帯投光器	レッドレンザー	5	iL7(防爆・防塵・防水型)
	携帯拡声器	最大出力5W以上	2	ノボル社製 TD-504Y 小型で軽量のもの
	応急処置セット	20人用 1式	1	日本メディコ製 携帯用パルスオキシメータ1個付属 携帯用血圧計1個付属 ネックカラー2個付属
	その他の携帯救助 工具	鉄筋カッター、万能斧、掛けや、 手斧、剣先スコップ、角スコッ プ、ノコギリ、ツルハシ、バール、 とび口	1	仕様書《第4章2(23)オ(イ)～(サ)》に記載のとおり

2 省令別表第1、地域実情分 ※一覧の数量は1台分のため、2台分の数量を要する。

品名	規格品質等	数量	摘要
水難救助用器具	潜水器具	BCジャケット	4 Kai・Ia製 プロスペックBCD(SUB-X)／G-17418 「RESCUE GIFU」と記載※詳細は別途指示 LEDストロボライト(AL15A)
		レギュレーター	4 Kai・Ia製 レギュレーター(1st/2nd)SS01JN／G-17120 ホースプロテクター付き セーフティセカンド SS-OCT／G17221 3連コンソールゲージ(圧力計水深計コンパス)水温計付き
		ウェットスーツ (ネーム入り)	4 別紙仕様書のとおり
		ドライスーツ (ネーム入り)	— 別紙仕様書のとおり ※北署は4着、山県署は2着(2台分の数量)
		潜水用ヘルメット	4 潜水用ヘルメット(ハーフカットタイプ 白3・赤1) 両側頭部に「岐阜市消防本部」と記載 ※詳細は別途指示
		潜水用マスク	4 マスクバンドロングDX&マンティス5BKシリコン 株キヌガワ セイフオレンジ マスク1つにつきシリコンバンド1本付属
		シュノーケル	4 カナールドライSP(GS-3162) 株キヌガワ シュノーケル1つにつきマウスピース1個を付属
		グローブ	4 潜水グローブ(ケブラー使用) RQ3
		ブーツ	4 ブーツDS HEAD JAPAN(4126)
		フィン	4 スーパーミューXX(GF-2432) 株キヌガワフィン フィン1個につきフィンストラップ及びバックル1個を付属
		フィン(ドライ用)	4 ドライスーツフィン(GF-2283) 株キヌガワフィン フィン1個につきフィンストラップ及びバックル1個を付属
		ウェイトベルト一式	4 鉛5kg(2kg2個・1kg1個) ステンレスバックル付ベルト1.3m
		水中ライト	4 CF450MLEDライト(664063) ハンズフリーグローブ付属
		水中ナイフ	4 ダイブナイフ(702000) 日本アクアラング
		潜水用付属品	1 ラインリール2個 収納バック(アクアギアバッグ)4個 日本アクアラング
		潜水用ポンペ	12 12Lメタリコン(K2バルブ付) 刻印 バルブキャップ ※潜水用ポンペ25本廃棄
救命胴衣	レスキュー隊員用救命胴衣	5 PFD カウテール付き (カラビナ付き※カラビナポケットに入るサイズ)	
流水用救助器具	スローバック	5 ウェストスローライン15m(カラビナ付き)	
救命浮環	日本救命器具	1 P-230K 型	
救命ボート	アキレス製SEI-365	1 アキレスエアガン300付き マキタ製UB185DZ付き 船体に「岐阜市消防本部」と「岐消6」(北署)を入れること 船体に「岐阜市消防本部」と「岐消25」(山県署)を入れること 船体検査に必要な資機材を全て装備すること (アンカー信号紅炎等) 更新する船舶を廃棄し、抹消登録すること	
船外機	ヤマハ製	1 20馬力 プロペラガード付き 予備プロペラ2個付属	

山岳救助用器具	バスケット担架	ファーノワシントン製 バスケットストレッチャー	1	モデル71-S
	登山器具	別紙		
その他の救助用器具	車両移動器具	ゴージャッキ	1	6313L 2個 6313R 2個 収納袋付属

3 省令別表第2 ※一覧の数量は1台分のため、2台分の数量を要する。

	品名	規格品質等	数量	摘要
重量物排除用器具	マット型空気式ジャッキ	マイティバッグ 1式	1	・フェッター社製マイティバッグ SV35×2、SV12×2、SV5×1、SV1×1 調整器、減圧器一式(29.4MPa対応) 接続ホース5m×2・延長ホース10m×2・ストップバルブ×4 調整器一式収納ケース付き
	大型油圧スプレッダー	スプレッダー	1	株式会社オグラ製 RP-S505 RP-M18V
切断用器具	空気鋸	レシプロソー	1	マキタ製 JR360DPG2 鉄・ステンレス・設備解体用(BIM48)×15本 超硬刃(HM3)×10本
	空気切断機	國富株式会社 空気工具300型	1	専用収納ケース付き 29.4MPa対応
破壊用器具	削岩機	マキタ製	1	HM1213C
	ハンマドリル	マキタ製	1	HR400DPG2N 超硬ドリル22mm×1 ブルポイント400mm×1 パワーブルポイント280mm×1 コールドチゼル25mm×300mm×1 スケーリングチゼル50mm×400mm×1 センターピン×1 パーカッションコア55mm×1 アダプタ×1 スコップ×1
呼吸保護用器具	酸素呼吸器	圧縮酸素形循環式呼吸器 予備ボンベ付きシゲマツ製	2	オキシゼム11 予備吸収剤ポリ缶付き
	簡易呼吸器	シゲマツ製	2	ダッシュ10II
	防塵マスク	シゲマツ製 DR28SN3	5	吸収缶(N3) 予備缶付
	送排風機	サンキ製ポータブルファン	1	防爆ママ スパイラルダクト BM-C×2付属 (ダクト収納袋付)
隊員保護用器具	耐電衣	ヨツギ製 YS-121-3-1	2	サイズ大(ジャンパー型)
	耐電ズボン	ヨツギ製 YS-122-1-2	2	サイズ大
	耐電長靴	ヨツギ製 YS-111	2	27cm
その他器具	緩降機	消防科学研究所製 スローダン125	1	ロープ30m
	ロープ登降機	ペツル製 アッセンション	1	右手用 ペツル B17ARA 左手用 ペツル B17ALA
	発電機	新ダイワ製 iEG2500	1	定格出力2.5KVA以上 ガソリンエンジン

4 省令別表以外 ※一覧の数量は1台分のため、2台分の数量を要する。

品名	規格品質等	数量	摘要
救助用ハサミ	セーフティボーイ	2	
燃料携行缶	ガソリン用	1	10L
		1	5L
工具	KTC製工具セット 1式	1	SK4521WZ
資機材搬送用具	リュックサック25L型	2	
	リグテックパック	1	CMC製
トランシーバー 特定小電力無線機	八重洲 スタンダード 防水型マイクロホン付き	5	FHT308 咽頭マイク、ヘッドセット付属
検電チェッカー	長谷川電気工業	1	HEV-750D
コードリール	畑屋製作所	2	SBE-30KC BWM-130K
エアバック作動防 止器材	エアバッグ保護カバー	1	セキユネットⅢ
丸のこ	マキタ製	1	165mm充電式マルノコ HS631DZS 替刃×5枚 システムケース付き
充電式エアダスタ	マキタ製	1	AS180DZ
電動インパクトドライ バー	マキタ製	1	TD173DRGX ドリル用ビットセット、ドライバー用ビットセット 10mmキーレスドリルチェック
油圧ジャッキ	ジャッキ	1	ダルマジヤッキ20t
隊員ベスト	トンボレックス製	5	G-VS1BK 背中に丸ゴシックで「岐阜市消防本部」と表示
脚立	アルインコ製	1	PXGE-710WX
テント	イージーアップテント	1	医療用テントセット/6m(横幕四方幕・ウエイト付) 天幕(緑)、横幕(白)、フレーム(アルミ)
プロテクター	シルバーフォックス	5	エルポーパッド、ニーパッド SP300、SP400
台車	クルーズカート	1	S55 専用ボックス1個付き
スペアタイヤ	スタッドレスタイヤ	2	リア用 アルミホイール付き
ポータブル電源	JVC製	1	BN-RB10-C ポータブル電源用収納バッグ付き
レスキューブロック	株式会社赤尾 ホルマトロ製	1式	ステップチョークAセット ロックブロックBセット

山岳救助用器具仕様書 ※一覧の数量は1台分のため、2台分の数量を要する。

	品名	規格品質等	数量	摘要	
山岳救助用器具	登山器具	ロープ保護カバー	4	CMC製 エッチガード	
			2	プロテック C45N	
		ロープ投下袋		4	ベツル製 S41 赤×3、黄×3
		『フルボディハーネス』 ※労働安全衛生法適合品 消防本部担当者と別途協議		5	グリヨン2m付属(カラビナ×2個付き) ショックアブソーバー付属 リングオープン付属
		マエストロL		2	ベツル製 DO24BA00 カラビナ付き(バルカン トライアクトロック)
		レスキューラック		2	CMC製 300890
		プーリー(シングル)		3	CMC製 300441 シングル(HD2)
		レスキュープーリー(ダブル)		2	CMC製 300302 ダブル
		スイベルプーリー(シングル)		2	CMC製 300437 プロスイベルプーリー 2.0 PMP シングル
		スイベルプーリー(ダブル)		2	CMC製 300438 プロスイベルプーリー 2.0 PMP ダブル
		アンカープレート		2	CMC製 300610 アルミ・ブルー×2
		スィーベル		3	CMC製 300701 プロシリーズスィーベル
		デジタル張力計		1	エンフォーサー
		レスキューハーネス		1	キャニオンワークス製
		アサップロック		2	ベツル製 アサップアブソーバー付属(40cm)カラビナ付き
		アブソービカ-I		5	ベツル製 150cm・カラビナ2個付き 労働安全衛生法適合品
		アブソービカ-Y MGO		5	ベツル製 150cm・カラビナ付き 労働安全衛生法適合品
		リギングセット		2	アズテック プロシリーズシステム
		ザイル	ニューイングランド社製 KMI	各3箱	12.5mmスタティック 白200m 赤200m
		チューブラー ウェビングテー プ		5	グリーン(1.5m)
5	イエロー(3.6m)				
5	ブルー(4.5m)				
5	オレンジ(6.0m)				
5	レッド(7.5m)				
5	デージーチェーン				
	プルージックコード	CMC製	2	赤、緑各8mm50m	
	カラビナ	プロシリーズ アルミ キーロック カラビナ(スクリュロック)	50	CMC製	

潜水用ウエットスーツ仕様書

1 品名

潜水用ウエットスーツ

2 規格

株式会社 Kai・la 製

ロングジョン+ジャケット潜水用ウエットスーツ（型番 GRW-911）

3 仕様

(1) 構成

ア ビーバーテール付ジャケットとロングジョンの2ピース構成とする。スーツ端末は全テーピング加工を施すこと。

イ 製品の基本的な材質はクロロプレンゴム（厚さ5mm）とし、胴体メイン表面は、特殊低反発ゴム糸の超極細繊維をラミネートしたネッスルとし、裏面は、伸縮性と保温性に優れたポリエステル中空糸起糸のネッスルβⅢ（TY-126）生地とすること。また、ライン部は表裏面共PS生地とする。

ウ ネッスル生地のカラーについて、胴体メインは黒色とし、ライン部は黄色とする。スーツデザインの詳細は別途指示する。

(2) 構造

ア パネルレイアウトは着用者の運動を妨げないものとする。

イ 手首及び足首には耐久性の高い樹脂製ファスナー（長さ16cm）を内側に取付け、裏側には肌にファスナーが直接当たらないように、ジャージ生地で裏当てを施すこと。

ウ ロングジョン前側中央上部から下部へ耐久性の高い樹脂製ファスナー（長さ35cm）を取付け、裏側には肌にファスナーが直接当たらないようにジャージ生地ですり当てを施すこと。

エ 膝部分に擦過防止及び保護の為、膝パッド（HTX）を装着し、スーツと一体化させること。

(3) 表示

ア ジャケット背中上部に黒色、丸ゴシック書体にて「岐阜市消防本部」、その下部に、上記文字より小さく丸ゴシック書体にて「RESCUE」を配置すること。

イ ジャケット左胸に黒色、丸ゴシック書体にて「岐阜市消防本部」、その下部に、上記文字より小さく丸ゴシック書体にて「RESCUE」を配置すること。

ウ ジャケット左肩部分に黒色、フルブロック体にて別途指定する番号を配置すること。

エ ロングジョン背中上部に黄色、丸ゴシック書体にて「岐阜市消防本部」、その下部に、上記文字より小さく丸ゴシック書体にて「RESCUE」を配置すること。

オ ロングジョン右ふくらはぎ部分に黄色、フルブロック体にて別途指定する番号を配置すること。

カ 表示する文字の位置は、バランスよく配置し、可能な限り文字を太くすること。
なお、詳細は別途指示する。

(4) 製品加工方法

製品は、全て接着、平すくい縫いとする。

(5) 寸法

担当者との協議の上決定するものとし、必要に応じて納入業者の責任において採寸すること。

4 品質保証

製造メーカーのクロロプレンウエットスーツ製品保証内容に準ずる。

納品時にメーカー発行による製造出荷証明書を添付すること。

5 その他

(1) 使用する金属類は、全てステンレス製等耐蝕性に富んだものを使用する。

(2) マークに使用するカッティングシートは、剥がれ及び耐候性等の耐久性に優れた物を使用する。

(3) 疑義が生じた場合は、消防課担当者と協議の上、決定するものとする。

(4) ウエットスーツ本体を収納保管できる防滴バッグをウエットスーツ 1 着につき、1 個付属すること。

潜水用ドライスーツ仕様書

1 品名

潜水用ドライスーツ

2 規格

株式会社ゼロ製 潜水用ドライスーツ (FDD - 01GR)
ハイブリッドフロントタイプ

3 仕様

ドライスーツは、胸部にて脱着が一人で容易にでき、機動性及び耐久性に優れたもので、高い防水性能を有するものでなければならない。

(1) 構成 (1セットの内訳)

ア 本体及びフード

潜水用ドライスーツ (3.5 mmハイブリッドフロントタイプ) 1着

イ 冬用グローブ

サーモグローブ 3J/RS (3 mm/5 本指) 1 双

ウ ドライスーツ本体収納防滴バッグ 1 個

エ ドライスーツ 1 着につき下記のを付属するものとする。

(ア) カプラー付中圧ホース (給気ホース) 80cm 1 本

(イ) ネックバンド (3J-BE) 1 本

(ウ) リストバンド (3J-BE) 1 対

(エ) ドライスーツ専用大型木製ハンガー 1 本

(オ) ドライスーツ本体収納防滴バッグ 1 個

(カ) 補修用キット 1 セット

※補修用キットは、補修用 20g チューブボンド (接着剤) 1 本、補修用パッチ 1 枚、AQUA SEAL 防水ファスナー専用潤滑用ワックス (ZIPTECH) 1 本をもって 1 セットとする。

(キ) ドライスーツ取扱説明書 一式

(2) 構造

ア 本体

(ア) 本体生地ベースは、独立気泡を有するクロロプレンゴム (ダイナウエーブ) の表面に「4 回コーティングのラジアルジャージ (黒色)」、肌表面温度 32°C ± 1°C に調整する機能を持つ生地「アウトラスト (以下 OL)」を貼り付けたものとし、本体名入れ部の生地表面は、昇華転写用生地にて、名入れを黒色、ベースをオレンジ、裏面は同じ OL とし、厚さは 3.5 mm とすること。

(イ) 両脇下から腰部にチャンネルエンボス加工した、「4 回コーティングのラジアルジャージ (黒色) / OL」を取り付けること。

(ウ) 首シール部生地は、独自気泡を有するクロロプレンゴム (ダイナウエーブ)

- の表面に滑性表面加工を施したブラックリペルスキン、裏面に伸縮性能と絹の肌触りのプレミアムナイロンジャージを貼り付けたものとし、厚さは3mmとすること。
- (エ) 手首のシール部生地は、独立気泡を有するクロロプレンゴム（ダイナウェーブ）の裏面に滑性表面加工を施したブラックリペルスキン、表面に超伸縮性能と絹の肌触りのプレミアムナイロンジャージを貼り付けたものとし、厚さは、5mmとすること。
- (オ) 左肩前部より上胸部を通り、右肩前部に、一人で簡単に脱着出来る防水ファスナー（「YKK 社製 AQUA SEAL：10VF-WN ダブルシール」を内面に接着し、YKK 社製（#10C）ファスナーを外面に W シール仕様に取り付けた（株式会社ゼロの特許方法にて作成の事）であること。切口処理は、フロントファスナー部1周ライクジャージテープ（オレンジ色又は黒色）にて補強取り付けること。
- (カ) 上記ファスナー下部の胸中央部に中圧ホース（全長80cm、脱着に容易なカバーがついていること。）にて送気する、360度回転式の給気弁（「Diveways 社製クリップ式給気バルブ」又は同等以上のもの）を取り付けること。
- (キ) 左下腕部に排気量調整可能で、緊急排気用として有効な機能および総排気量を有する自動排気弁（「Diveways 社製オート式排気バルブ」又は同等以上のもの）を取り付けること。
- (ク) 胸部及び両肩、大腿部裏側に左右対称で各2箇所、計8か所にマイクロプリズム構造の再帰性反射材（「ORAFOL オラライト J805KFB」又は同等以上のもの）を取り付けること。
- (ケ) ブーツは、靴底がカレンダーソール仕様のドライブツールとし、ドライスーツ本体と一体化させる。サイズは22cm～32cmで選択可能とする。
- (コ) 膝からブーツにかけて擦過防止のために、1.5mm生地厚の瓢箪型メッシュゴムパッドを貼り付け一体化させる。
- (サ) サスペンダーをドライスーツ内側に取り付けること。
- (シ) ドライスーツ本体はすべて接着し、表面張り合わせ部は、1.5mm ラジアルテープ（朱色又は黒色）加工を施し、裏面張り合わせ部は、特殊加工を施した1.5mm ジャージテープを施し、2点及び3点張り合わせ部は、特殊ネオプレンゴムにて補強を施すこととする。

イ フード

- (ア) 本体生地は、独立気泡を有するクロロプレンゴム（ダイナウェーブ）の表面にライクラジャージ（オレンジ）、裏面に「アウトラスト」ジャージを貼り付けたものとし、厚さは3mmとする。また、頭頂部に排気機能構造の弁を取り付ける。
- (イ) 顔面部生地は、独立気泡を有するクロロプレンゴム（ダイナウェーブ）の裏面に滑性表面加工を施したブラックリペルスキン、表面に超伸縮性能を有するプレミアムジャージを貼り付けたものとし、厚さは3mmとする。
- (ウ) 首部生地は、独立気泡を有するクロロプレンゴム（スーパーラバー）の表面

にハイストレッチャージャージのプレミアムナイロンジャージを貼り付け、裏面には滑性表面加工を施したブラックリペルスキンとする。

(エ) 本体は、すべて接着し、ジャージ部は、平スクイ縫いとする。

(3) 表 示

ア 背中上部に黒色、HG 丸ゴシック M-PRO 書体にて「岐阜市消防本部」、その下部に上記文字より小さく同書体にて「RESCUE」を配置すること。

イ 左胸に黒色、HG 丸ゴシック M-PRO 書体にて「岐阜市消防本部」、その下部に上記文字より小さく同書体にて「RESCUE」を配置すること。

ウ 左腰部に黒色、フルブロック体にて別途指示する「番号」を配置すること。

エ 表示する文字の位置は、バランスよく配置し、可能な限り文字を大きく太くすること。

(4) 寸 法

担当者と協議の上決定するものとし、必要に応じて納入業者の責任において採寸すること。

なお、本仕様にかかる寸法等の数値に関する許容範囲は±5%以内とする。

4 その他

(1) 製品完成後、ドライスーツ検査成績書を2部提出すること。

(2) マークに使用するカッティングシートは、剥がれ及び対候性等の耐久性に優れた物を使用すること。

(3) 疑義が生じた場合は、消防課担当者と協議の上、決定するものとする。